

令和6年度 第1回福井県長寿医療運営懇話会会議録

日 時 令和6年9月26日(木) 午後2時00分～3時30分
場 所 福井県自治会館 2階 202.203研修室
出席者 坂口委員(会長)、西川委員(副会長)、松川委員、安川委員
田中委員、小川委員、富士委員、穴田委員、的場委員
(欠席)井上委員、水上委員
上田委員 代理 神谷氏、松森委員 代理 菱川氏

事務局 宮木局長、前川次長、三寺課長、 他5名

1 事務局長あいさつ

2 会長あいさつ

3 協議・報告事項

(1) 後期高齢者医療制度の概況について

・・・・・・・・資料により事務局説明(課長補佐)

(2) 保険料率の推移について

・・・・・・・・資料により事務局説明(課長)

(3) 健康保険証の経過措置およびマイナンバー保険証の利用率について

・・・・・・・・資料により事務局説明(課長補佐)

(4) 第3期データヘルス計画と令和6年度後期高齢者保健事業について

・・・・・・・・資料により事務局説明(主任)

4 その他

協議事項に対する質問・回答・意見

(1) 後期高齢者医療制度の概況について

- 【会長】 ジェネリック医薬品の福井県の使用率が80.3%とあったが他県の情報があれば教えていただきたい。
- 【事務局】 他県の状況についての資料は持ち合わせていないが、国が80%を目指しており、福井県は、80%を超えていることから全国的に見ると高い使用率となっている。
- 【委員】 重複・頻回受診者訪問指導事業の訪問指導実人数が低い理由は。
- 【事務局】 コロナ以降対面の相談希望が少ない。訪問指導した方からは、重複・頻回受診が減ったとお声をいただいている。
- 【委員】 お薬手帳の活用は。
- 【事務局】 重複・頻回受診者訪問指導事業に薬は絡んでおらず、他事業で薬関係の事業を実施している。

(2) 保険料率の推移について（質問なし）

(3) 健康保険証の経過措置およびマイナンバー保険証の利用率について

- 【委員】 マイナンバーカードの紐づけ、管理などの取り扱いのマニュアルが出ているが、高齢者ご本人がなにかすることは難しい。老人福祉施設協議会としては、支援する取組みを推進していく。
- 【会長】 被保険者の立場としてマイナ保険証について、委員にご意見を伺いたい。
- 【委員】 保険証を有効期限ギリギリまで使用しようと考えているが、早く手続きした方がよいのか疑問である。
- 【委員】 マイナ保険証での医療機関の受診はないが、前職で官公庁で働いていた経験から、個人情報なのに取扱いに注意しないというイメージを持っており、マイナンバーカードを紛失するリスクに抵抗感があるので、紛失するリスクを和らげるような対策を推進していけば普及していくのではないかと考えている。

【会長】 個人的にニュースを見て、マイナンバーカードを再発行するときに非常に時間がかかると聞いており、マイナンバーカードも紛失したときに医療機関を受診するのは、どうすればいいのか気になるところである。

【委員】 マイナ保険証の利用率は低い状況だが、皆さんに利用していただくように医師会は動いている。能登の震災のときには、特例的にお薬や健診のデータを引き出して役に立ったという話も聞いているし、政府が今からマイナ保険証を取りやめることもありえないので、各分野で普及の手法を考えてもらうべきだと思う。

(4) 第3期データヘルス計画と令和6年度後期高齢者保健事業について

【会長】 (みなし健診について) 医師会の反響をお聞きしたい。

【委員】 特に問題はない。最初は文句を言う先生もいた。

【会長】 口腔機能相談・指導事業の反響をお聞きしたい。

【委員】 まだ始めたばかりなので、分からない部分もあるが、武生でもともとやっていた事業である。事業の内容としては手厚いが、歯科医院の協力が難しいので、歯科医師会としても協力を依頼していく。

【会長】 一体的実施についてのご意見をお聞きしたい。

【委員】 看護協会としては、在宅中心の医療、居宅介護を推進しており、医療機関以外にも看護師を配置している。今後も重点的な対応をする方針である。外来看護師の研修も企画している。出前講座などいろんな場で接触し、少しずつ出来ることから取り組んでいる。

【会長】 介護予防の視点からご意見をお聞きしたい。

【委員】 データヘルス計画は要支援1～5まで対応しているが、軽度の人向けのよう印象を受けた。口腔ケアは大事で、噛むことで認知機能の低下を防止できるし、お口から健康になっていただきたい。最近、軽度の要介護認定が増えているため、介護認定をしなくてすむ高齢者を増やしていくべきである。高齢者からいろんな質問が飛んでくるので、情報共有の場も大事である。

【会長】 ○○委員に保険者として特徴的な取組みについてお聞きしたい。

- 【委員】 データヘルス計画の中で、協会けんぽと比べると健康づくりの観点がないと感じた。福井は車社会で歩く習慣がないためウォーキングアプリの推進や、塩分接種が高いことから減塩の取組みを推進しているが、そういった取組みはないのか。
- 【事務局】 ウォーキングや減塩対策は、若い方の対策であり、国の高齢者向けの指針としても日常生活を変えていくといったところが見えてこない。
- 【会長】 △△委員に保険者として特徴的な取組みについてお聞きしたい。
- 【委員】 小浜市では、フレイル予防や体操の推進に力を入れている。市街地では、健康管理センターで体操を推進しているし、村部では、フレイル予防に力を入れている。
- 【会長】 県の対策についてお聞きしたい。
- 【委員】 県としては、若いうちから生活習慣改善を推進していきたい。R 6. 3月に健康づくり応援計画を策定しており、食事・健康・口腔などいろんな分野から健康寿命を延ばしていく方針である。

(5) その他について（質問なし）